

水性1液透湿型基礎巾木用シリコン樹脂塗料

ロックキンコート (つや消し)

ホルムアルデヒド放散等級区分

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

基礎巾木部の汚れ・劣化
見落としていませんか？

綺麗に塗り替えて中性化を抑制し
コンクリートを保護します。

ロックキンコート で予防

✓ 露筋



✓ ひび割れ



✓ カビ・藻



ひび割れ
抑制

微弾性

水性1液

防カビ
防藻

透湿性

中性化
露筋抑制

防水

シリコン配合
高耐久性



ロックペイント



ローラー塗装が出来る微小骨材既調合タイプで微細なひび割れを充填し、ひび割れの再発防止に役立ちます。
塗膜は透湿性がありますので、基礎巾木部の膨れや剥離を抑制します。

特長

- ✓ コンクリート基礎巾木部の中性化を抑制します。
- ✓ 透湿性があるため、膨れ、はがれを抑制します。
- ✓ 微小骨材既調合タイプで厚付けできるため、微細なひび割れも補修することができます。

- ✓ 塗膜が微弾性のため、下地追従性があります。
- ✓ シリコン系塗膜のため、高い耐久性を発揮します。
- ✓ 防水性にすぐれています。
- ✓ 防藻・防カビ性を有しています。
- ✓ 水性1液のため塗装しやすく、臭気が少なくすみます。

- 主な用途 戸建住宅、集合住宅、商業施設などの基礎巾木
- 適用下地 屋外コンクリート、モルタル

- 適用旧塗膜 EP・リシンなどの艶消し塗膜
- 容量・荷姿 ●荷姿：16kg ●色相：各色（中濃彩色は対応不可）●ツヤ：つや消し

標準塗装仕様

| 工程 | 使用塗料 | 希釈剤 塗装方法と希釈割合 (%) | 塗装 回数 | 標準塗付量 (kg/m ² /回) | 塗り重ね可能時間 (23℃) | |
|------|---------|---|----------|---------------------------------|-------------------|--|
| 素地調整 | 新設 | ゴミ、ホコリ、付着物等は入念に除去し、乾燥した清浄な面とする（含水率 10% 以下、pH9.5 以下）。 | | | | |
| 下地調整 | 改修 | ゴミ、ホコリ、藻、カビなどの付着物は入念に除去する。旧塗膜に浮き、割れ、膨れ等がある場合は入念に除去する。クラック、鉄筋の露出、モルタル浮き等の不具合がある場合は適切に処理する。 | | | | |
| 下塗り | 新設 | 水 ハケ・ローラー：0%（通常不要） | 1 | 0.07~0.13 | 3時間以上 | |
| 上塗り | 改修 共 | 水 ハケ・ローラー：5~10% | 2 | 0.20~0.25 | 2時間以上 | |

施工上の要点および注意事項

- 塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- 色彩によっては底つやが残ることがあります。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 塗装中および塗装後 24 時間は 5℃ 以下にならない場所で使用してください。また湿度が 85% 以上の場合は塗装を避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 降雪、降霜、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装を避けてください。
- エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- 大きな素穴、目隠し、不陸、クラックなどはセメントフィラー、樹脂モルタルで補修してください。補修後はシーラーを塗装してください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノントックプライマー S」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノントックプライマー S」は塗装しないでください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗膜が完全に乾燥する前に、降雨、結露等がありますと、白化やしみが残る場合があります。また、低温時や高湿度、モルタルが濡れる場合も白化やしみになる場合があります。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率 10% 以下、pH9.5 以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用ローラーで適切なものを使用し、あらかじめ下塗りをしておいてください。
- 屋外セメント系素地に段差・果たなどがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想できる場合は、溶剤型を使用ローラーを使用してください。また改修塗装で溶剤型のローラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りを行ってください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- カチオン系ローラーと上塗り塗料と混合するとゲル化して使用できなくなります。また塗装用具を共用することも避けてください。
- さげ缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類は錆が発生するおそれがあります。
- 比較的緻密な素材である押出成形板や GRC 板へ塗装する場合は、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエボを下塗りとして使用してください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 乾燥した塗膜に付着した汚れはシンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクタンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24 時間以上乾燥させてください。（気温 20℃、湿度 65% の場合）
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって付着不良やリフティング等の塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りをすることをお奨めします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜（弾性リシン、弾性スタッコ）やアクリル樹脂エマルションの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 下地の種類、状態によっては、表面荒らしが必要な場合があります。
- 仕様の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用する場合は十分な性能が得られないことがあります。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素地を含む）を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 塗装間隔は守ってください。塗装間隔が長くなりますと付着性が低下して上塗り塗料と層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- フタを開けたままにしておくことにより皮張りを起こしますので、出来るだけ早く使い切るか、ポリエチレンシート等で密閉保管してください。
- 塗装後 24 時間以内に降雨、結露があった場合、白化やしみが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やしみになる場合があります。

安全衛生上及び取扱上の注意

- 【製品の危険・有害性】
 - 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。
- 【救急処置】
 - 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 【取扱注意事項】
 - 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
 - 吸い込みは、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。
 - 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
 - よくふたをして直射日光を避け 5℃ 以上 40℃ 以下の安全でかつ子どもの手が届かない場所に保管してください。
 - 容器は身を使い切ってから破棄してください。
 - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 【施工後の安全性について】
 - 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいないので、塗装直後の引渡の際には、業主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。
 - 取扱の際は製品容器の注意書き、および安全データシート (SDS) をよく読み、注意事項を厳守してください。

ロックペイント 株式会社

- 東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎ (03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
- 大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市淀川区姫島3丁目1番47号 ☎ (06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
- 札幌営業部 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎ (011)812-2761 FAX (011)812-9304
- 仙台営業部 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号波止ビル201号 ☎ (022)349-8677 FAX (022)283-3255
- 西関東営業部 / 〒252-0131 / 神奈川県横浜原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎ (042)700-3111 FAX (042)700-3112
- 名古屋営業部 / 〒454-0059 / 名古屋市中区福川町1丁目1番地 ☎ (052)351-6500 FAX (052)361-7433
- 岡山営業部 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎ (086)294-1201 FAX (086)294-6966
- 福岡営業部 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎ (092)962-0661 FAX (092)963-1241

販売店

●本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

●本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。